七月六日　夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價　拾錢　一ケ月金五拾錢　郵送五圓
廣告料五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

自然人に還れ

眞繼雲山

都會人の生活は、出でては電車あり自動車あり、入りては電話あり、瓦斯あり水道あり、栓をひねると水が出るマッチを摺ると瓦斯が燃えるといふ風だから至極重寶である、しかしそれは自然の上築かれた不自然な人工でしかない、他を征服したものはやがて他に征服せられて終るやうに自然の上に築いた技巧はやがて何の日にか元の自然に還らざるを得まい。

往年の關東大震災を見るがよい、僅か地幅四寸の一ゆれで電信も電話も水道も瓦斯もピタリと停止して世は暗黑、涸渇の修羅場と化したではないかそれ人工に奢るものへの天譴であつたとも見える、そこへゆくと人里はなれた山家の住居は自然そのものである、谷川の流れを汲み、柴を拾ひ、菜を摘み、木を組み、竹を編み、松を焚き、太陽と共に働き、星と共に眠る、それは全く自然のふところに抱かれた恩寵の生活である自然に即する故に地震も貧乏もこれをおびやかすことはない、その生活は平安である。

私は斯く言ふに對して都會人は嘲笑していふであらう、おろかしき未開人よ、蠻界への逆轉を思慕するものよ、時代に取り殘されたる落伍者よと。

しかし言ふことをやめよ都會人の生活はそれが自然の患みそのものでない、水道も瓦斯も只では出て來ない、水道料を滯納すれば停水處分を受けて餓渇といふ斷水のピストルで直ちに一命の脅迫を受ける、瓦斯も電燈も金が無ければペチンと止められる、都會人の生活とは金に追はるゝ生活である、金のないといふことは直に命のないといふことに匹敵するこれが果たして大自然の眞意であらうか。

あはれな都會人は生きんがために金に追はれ金に追はるゝ故に日夕、目を三角にして血みどろになつて惡戰苦鬪してゐる、しかも金は水のやうに他から沸いて來ない、手づくりで贋造したものは牢獄につながれる勢ひ金をつかむの道は他人を欺き他人を苦しめ他人の咽首を締めることより外にはない、合法的な債權の取り立ては何れか締めることの具体化でないものがあらうか、差押へや競賣はその序曲であり、半夜覆面の强盗は、人工文明のもたらした終局のシンボルでなくて何であるか。

人生の樂園、地上の天國は文明の終局に築かれるのではなくして、原始國の原始人の心に宿る、赤ン坊が神の心に近いであらうやうに聖なる人間の姿は原始人に見得るであらう、文明の極点は地上を地獄とし人間を惡魔と化せずんば至幸である、この故に神は地球の滅後には再び原始地球を創造するに違ひない、私をして創造神たらしめば、私は金とか名譽とかいふ現象も言葉もない國をつくる。

有史以前の原始人が金ともいはず名譽ともいはず山に狩し川に漁りした原始生活は只今の私に取つてのユートピアである。

私はこの後幸ひにして言ふべきを言ひ、書くべきを書き終つて、他日なほ且つ餘命がありとするならその時は人煙を絶した山寺に佛書三昧の原始生活に還る、私は結局世のため街頭に血みどろとなる佛樣ではなくして隱棲の靜寂を希ふ山寺の羅漢樣であるらしい。

▽◎△

涼味百パーセント菊地の白靴
お若いお方にノーブル型
最新角型はモダン好み
お中年のお方は先細型
とてもシイクで値が安い
當店自慢のリネンシュー
三、二〇ヨリ……五、〇〇マデ
平四　菊地靴鞄店
電話(呼)四三六

■磐城名産■
鰹節と鹽から
配達敏速
魚屋
最優大日本生命平代理店
榮盛賀志
平四丁目　電二三一番

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店　西村屋藥舗
平町二丁目「電三」

經濟優美
靈柩自動車
橋本屋造花店
平町新川町
電話一六三番

外科
專門
光線科
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

貸金
何人にも簡易に
即時御用立致します
國庫、勸業、復興債券、高級質札買入並金融、恩給、年金及簡易保險(前借失効可)即時立替、債券取立
▼御報次第店員參上秘密融通
平町南町(廿三夜側)
伊東

今般食堂部を加設致しました
洋食一般出前致します
何卒御用命下さる樣御願ひ致します
食堂部近日開店
料理店は從前通り營業を續けて居りますから此際倍舊の御愛顧賜り度く御願ひ致します
福榮亭
平田町(電三二五番)

初夏の海は……
トテモほがらかです
新綠と情熱の……
ローマンスと鄕愁の海邊へ……
一日の清遊を
お試みになりませんか
尼子タクシー
電六四〇番

火藥・坑夫を追ふ

▽……各炭礦が機械化の結果

▽……從業員の約七割を減少

手堀時代から爆破時代へ

平署管内の各主要炭礦では二三年前より不況對策として事業の合理化を圖り

採炭の 機械化を充實して從業員を整理し人件費に極度の制限を加へて居るが現に磐城炭礦の本年度上半期に於ける機械購入額は二十万圓の巨額にのぼつて居る而して各炭礦機械化の結果使用する火藥類は去月中の平署管内十三炭礦で

使用した 數は火藥百二十貫、爆藥五百五十貫、硝安爆藥が二千四百七十貫合計三千百四十貫此の外雷管十二万個、導火線二万五千米に達し數年前の使用量の約四倍に當つて居り是等火藥爆破に依つて採炭能率を上げる結果

以前の 手堀時代から見ると七割の從業員が整理されたといふ

建値は八圓五十三錢第二三の兩回は八圓四十八錢平均八圓五十錢を以つて平町の青木丹野兩氏と四倉町渡邊氏に落札されたが前回より十七錢餘の高値であつたと

共同米出荷多數

養蠶や田植が終つて

石城郡四倉驛前大浦倉庫の共同米販賣は昨五日行はれたが養蠶及び田植を終へた事とて四等百八十六俵、五等二百六十六俵、等外五十五俵合計五百七俵と云ふ多數の出荷を見たので三回に分けて入札せる結果第一回

氷屋さん

戰端開始

スツカリ夏の裝ひ

こゝ一週間はほとんど眞夏同樣の高溫を示し酷暑の夏來れりと肯づかせた……

街の巷は長い袂と、清々しい單衣、パラソルカン〳〵帽、白ズボン黨がしやなり〳〵とおよぐ、各商店のウィンドーは一齊に夏帽子パラソル、湯上り、海水着、ワイシャツ、ネクタイ等凡て夏物を陳列し往き交ふ人々の目を奪つてゐる

▽◇△

アイスクリーム屋さんは吾等が活躍期到來とばかり幾つも〳〵連續して巷を馳驅する、アメヤさんはいかにもノンキさうな音色の笛をふきながらダン子屋さんと共にその間を縫ふすげ笠を被つた金魚屋さんは『金魚！〳〵』とふれながら天ぴんを肩に箱をかついで軒並に流れる、自動車、自轉車は砂げむりたてながらはじる、撒水車が通る、實に目まぐるしい情景だ

▽◇△

氷屋さんは氷屋さんで戰端開始の準備中であつたが一丁目の藤寅や平署前通りの藤市はそのトップをきつて既に戰端を開始した

水泳競技大會

古河炭礦主催

石城郡好間村古河炭礦會社では來る十四日午前七時より同礦プールに於いて從業員及び一般參加者の水泳競技大會を開催する事となつたので希望者は十六日迄に礦務所に申込まれたい

松本書記出張 磐城中學校書記松本志人氏は縣下各中學校會計主任會が今明二日間郡山市安積中學校に於て開かれるので今朝平發五時四十二分で出張した

井上氏記念品 縣教育會石城部會にては分般本縣教育課にあつて多年教育行政の爲めに盡力せられた井上理氏が社會課に轉任されたので記念品を贈呈すべく會長曾我直治氏が目下奔走中である

考査試驗終了 運動部猛練習

平商業學校体育部にては本日を以て一學期の考査試驗が終了したので明日より各々係教諭コーチの下に猛練習を開始すると

鮫南中堅農民學校の新築校舍竣工す

既報石城郡錦村の鮫南中堅農民學校は本年四月より同村小學校に於て授業を開始したが先般來小學校傍に校舍建築中の處此程竣工を見たので來る九日午前十時より地方諸名士を招待し盛大な校舍披露式を擧行することになつた

海洋調査協議 石城郡小名濱測候所の技手小磯一雄氏は本月廿日より廿二日迄宮城縣本吉郡氣仙沼町に於いて開催される一道六縣海洋調査の協議會に出席することになつた

災害復舊工事の一部竣工を見る

既報平土木監督所が災害復舊工事として去る五月より工費合計二十万餘圓にて着手された河川改修工事のうち鮫川二ケ所藤原川五ケ所蛭田川六ケ所の各堤防及び鹿島村川前村等に於ける橋梁掛替工事は此程全部竣工を見たので昨五日縣土木課の遠藤技師が實地檢査を行つた

本年度事業計劃協議

女青役員會

平女子青年團役員會は來る九日午後二時より第二小學校に於て開かれるが協議事項は本年度の事業計劃にて總理津田達造氏の講演があると

來月初め頃 桃の走り 出荷値協定

石城郡赤井村果樹組合では來月初め頃より桃の走りが市場に送り出されるので來る十日午後二時より村役場に役員會を開き害虫驅除劑の共同購入及び出荷値段の協定等に就いて協議を行ふ事になつた

校長選手督勵 磐城中學校及び平商業學校兩校長は今夏保原安積其他に開かれる縣下中等學校体育大會に出席し大いに選手を督勵すると

平町人事

回出生

△搔槌小路四堤明氏三女富子

回死亡

△搔槌小路八〇　高野ノブ（二四）

△紺屋町六六　小野幸次郎（四五）

△鍛田二五當時内郷村字白水鐵越兵治（八〇）

貸切は●●●
セダン揃ひで
貸切專門の
昭和タクシーへ
電話三四三（サシミ）

耳鼻咽喉科專門
增田醫院
平南町（電話四八二番）

齒科醫の事務員が獨り心中

酌婦に愛想を盡かされて

平町南町織田齒科醫院事務員山形縣生平清太郎（二六）は本日午前八時半頃飲食店弓屋事齊藤欽次郎方に於いて昇汞水を多量に嚥下して苦悶中を家人に發見され附近の松村醫師の手當を受たが間もなく死亡した尙原因は同醫院附近飲食店の酌婦に現を抜かし通ひ詰たが數日前手强く愛想盡かしされたのを悲感したものであると

佐藤川前村長病む

同窓生見舞

石城郡川前村前村長佐藤三郎氏は長らく病床に有目下療養中であるが磐中第四回出身である處から同窓の誼みある山崎宣吉、廣田德行堀江正茂、高萩權次郎、直井藤太郎、大瀨正晴、小林美定、山名隆貞、の諸氏が發起となり廣く同窓生より金を集め見舞する事になつた

偽證事件

懲役半年求刑

既報石城郡勿來町大字關田字關根二十三番地蛭田源右衛門（三四）に對する偽證事件の公判は本日午前十一時より平區裁判所に於て中島判事係り市川檢事立會門傳辯護士列席の上公判開廷され事實取調べの結果檢事より懲役六ヶ月の求刑あり後門傳辯護士の減刑論あつて閉廷したが言渡は來る十二日午前九時であると

大野村の安出山崩る

大鳴動に驚き部落中大騒ぎ

人畜には被害がない

昨五日午後一時頃石城郡大野村字駒込地内通稱安出山東例山腹が十餘間の地辷を生じ附近山林及び梨畑等に多少の被害を見たが幸ひ人蓄に被害なく物音に驚いた部落民は一時非常な騒ぎであつたと

平裁判便り

△石城郡内郷村大字宮字宮澤三番地小林長松（四三）は本年三月二十二日午後三時頃自宅に於て小山忠治、吉田精三郎等と共に花札を使用し賭錢博奕をなし賭博罪として罰金八十圓

△同郡永戸村大字合戸字内畑三十八番地山内瀧十郎（三三）は後備役陸軍輕重輸卒なるが昨年八月十三日好村小學校に於て擧行したる簡閲点呼に正當の理由なく參會せず陸軍刑法違反として科料五圓に本日各々平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

勿來の關に筆塚を建つ

東都諸名士の筆は既に蒐集を終つた

石城郡の名所勿來關跡に關守をして居る根本一男氏は東京小石川高等女學校長川口愛子女史の後援で同處に筆塚を建設すべく既に東京の諸名士よりの蒐集を終つたので近く郡下小學兒童の毛筆を集める外記念館を建てゝ筆の供養會を催す計畫であると

檢事受理件數

平檢事局に於ける去月中の事件受理件數は百四十八件、人員百九十四人で其内起訴されたのが二十五件、不起訴が八十件其他は目下取調中であるが最も多いのが傷害の八件で窃盗、博賭是れに次ぎ放火、殺人等の物凄いのもある

兒童衛生講話

平第一小學校にては傳染病の流行季が接近したので本日尋常科第三學年以上の生徒に對し吉成訓導が衛生講話をなした

高月句會廿日開く

平町高月句會例會は來る二十日萩野天仙氏宅に於て開かれたが今月の句題は夏の夕、蝸牛、向日葵であると

平商郊外遠足

平商業學校にては來る八日合々主任引率の下に新舞子へ全校生の郊外遠足を行ふと

平職業紹介所報告

回求人の部

△女中　二十才　高卒　給料面談（平町某）

△子守　五十迄　尋卒　月三圓（平町某）

△女中　四十五才　尋卒　給料面談（平町某）

回求職の部

△外交員　三十五才　高卒　給料面談（四倉町某）

△商店雜役　三十七才　高卒　給料面談高（久村某）

△女中　二十六才　尋卒　給料面談（平町某）

△小使　三十三才　高卒　給料面談（神谷村某）

明日のラヂオ

七日　仙台放送局

天氣豫報

今晩は南西の風曇り明日は南の風曇り一時晴れ

今晩の部

▼後六、〇〇子供の時間長唄「五條橋」伊藤英三（八才）三味線杵屋和歌安

▼後六、二〇「コドモの新聞」村岡菊子

▼後六、二五カレントトピックス　ハロルドバーマー

▼後七、三〇講演

▼後八、〇〇三曲「茶の湯音頭」「松風」大沼多美井外

▼後八、三〇長唄「多摩川」春千代外

▼後八、五〇浪花節「勤王美談多治見國長」吉田日の丸

▼後九、三〇時報　全國ニュース　氣象通報・番組豫告

明日の部

▼前八、三〇「第二師團戰死者慰靈祭」

▼前九、一〇料理献立「グラニット西瓜冷菓」朝倉長吉

▼前一〇、三〇婦人講座「花火の見方」東京帝大助教授理學博士西澤勇志智

▼後〇、〇五管絃樂　獨唱　小林千代子　東京ラヂオオーケストラ　指揮奥山貞吉

▼後二、〇〇家庭大學講座「世相の變化と日本婦人の立場」文部省社會教育官水野常吉

▼後六、〇〇子供の時間童話劇「七夕まつり」虹の會

▼後六、二〇ロドモの新聞　村岡花子

▼後六、二五カレントトピックス　ハロルドバーマー

▼後七、三〇講演「王政復古の前后の話」淺野侯爵邸より中繼　侯爵淺野長勳

▼後八、〇〇農村副業座談會（出席者）農林省副業課長湯河元威　北海道副業主任北村元治　青森縣同吉川三郎　岩手縣同猫塚一郎　秋田縣同三宅治一　山形縣同窪田榮作　福島縣同磯部泰司　宮城縣農務課長猪股博　宮城縣副業主任野崎正雄

▼後八、五五掛合噺「星の招待」たぬきや連中

緑の丘！
靜かな水郷を尋ねる……
初夏のビクニックに
一層愉快なMSカメラ
素的に良く寫るので
大評判……
初夏來る
MSカメラ相談部新設
今回皆樣の御便宜を計りMSカメラの相談部を新設致しました、今迄御撮りになつた寫眞でよく出來なかつた方又はこれから御初めになる方で御解りにならぬ方はどんな事でも御遠慮なく御相談下さい、皆樣の良く御解りになる迄實演して御教へ致します。
小型判カメラ　附屬品附　金五十錢より各種
ベスト判カメラ　同　金貳圓より各種
名刺判カメラ　同　金四圓より各種
MSカメラ特約店
いづみや玩具店
カメラ部
平驛前

蒙古襲來

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第九十四席　眞庭念流達人櫻井五助

一寸うまい狂言

角一の子分民藏は秋山要介に對ひ。

民「先生親分角一の口上を有つて出ましてございますそれは先年相ノ川の一家兩笠の幸次が藤岡の慶助の子分藤太郎の爲に殺されまして」

要「その事は聞いた、それがどうした」

民「その藤太郎が今日親分角一の賭場に參りました」

要「ウンそれがどうした、

民「御存通知の通りわたくしの親分角一は幸次とは兄弟分でございます、藤太郎と云ふことを知つてそれを斬らうといたしますと、奴は逃げてしまひました」

要「ウムそれでどうしようと云ふのか」

民「藤太郎の親分慶助が當方に一言の沙汰もなくあれを此處へ伴れて來たは勝手我儘の爲方でございます」

要「宜し判つた夫で慶助の許へ喧嘩狀を付けたか」

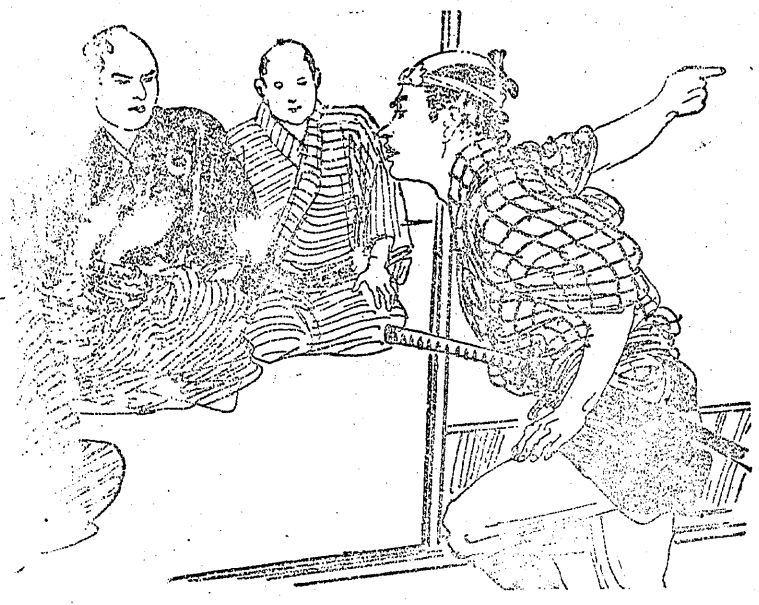
民「左樣でございます」

要「そこで角一の方に助勢をする者は誰だ」

民「一柳の貸元に廣澤の親分神輿の三右衛門親分、鰍澤の藤兵衛親分總人數百五十人場所は養壽院の大門前に兩方から出張ることにいたしました」

要「ところで慶助の方は」

民「三保松源藏に小金井の半助其他上州の貸元は皆腕貸をいたします」



要「さうか大分騷がしくなつたな」

民「就ては先生にお願ひ申しますが」

要「イヤもう云ふナ、俺に助勢をいたせと申すか」

民「左樣でございます」

要「承知した、これは角一の立腹するは尤もだ、俺は甲州方に味方をして上州の奴等を片つ端から斬つて捨てる」

民「それは有難いことでございます」

要「丈右衛門貴樣も仕度しろ」

と云ひながら衣服を脱いで稽古着を被て朱鞘の大小を腰にして。

要「只今直ぐに參ると云へそれで俺の行くまでは必ず手出しをいたしてはならんぞ」

民「畏まりました。それでは先生のお出をお待ち申します」

と云ひ置いて民藏は歸る

後に要介は稽古着を脱ぎ鉢卷を取り大小をそれに置き以前被て居た衣類を着替へ

要「サア藤藏酌をしてくれ……」

藤「先生はお出掛けになりませんか」

要「何處へ行く」

藤「何處へ行くとは妙で、岩手の親分に腕貸をなさると今此處で請合つたやうですが」

要「さう〳〵そんな事を云つたナ、まア捨置くさ、茲で喧嘩が出來ては、俺の懷中が違ふ、その内には仲人が入るだらう、それまで飲んでゐるのだ」

藤「どうも先生の山師には驚きました」

要「アハヽちよいと狂言をしたが、旨いものであらう……」

秋山は又盃を取つたスルト又梯子段を駈上けつてこの座敷に入つて來た者がある、手拭で向鉢卷をして襷を掛け裾をからげて勇ましい扮裝をしてゐます。

要「何んだ貴樣は」

男「秋山先生でございますか、わたくしは藤岡の慶助の若い者でございます」

要「その藤岡の身内が何んの用事があつて見えた」

男「親分の口上でござんすどうぞ先生の腕貸をして頂きたいもので」

要「喧嘩が次第によつては助勢もいたさう、一体喧嘩の相手は何者だ」

男「岩手の角一を初めこの甲州一圓の親分方でございます」

要「宜し承知した、助勢して遣はす」

男「それは有難い事でございます、就ては先生この喧嘩の原因は」

要「そんな事は慶助に會つて聞く俺が是から出かけて行き甲州の長脇差どもを片つ端から斬つてすてる、ソレ丈右衛支度いたせ」

と云ひながら稽古着に着替へて朱鞘の大小を腰にした、慶助の子分は喜んで、

男「先生がお出になれば喧嘩は勝ちと極りました」

要「俺の行くまで手出しをしてはならぬ、神妙にいたし居れと、慶助に申し聞けろ、只今直ぐに參るから」

男「お待ち申して居ります」

云ひすてゝ出て行く、後姿を見送る秋山が、やがて稽古着を脱いでしまひ。

要「サア藤藏もう一杯飲むかナ」

藤「先生お出掛けになりませんか」

要「まだ俺が出る程の舞臺でない、藤藏もう一ッ酌をしてくれ」

悠々と盃をあげて居ります、傍の者は呆れて見てゐた

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平町南町
電一七〇

お醤油は……ヤマフル
醤油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町【電話營業部一〇釀造工場三七】
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

市原醫院
平町田町（電話一一四番）
內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋毒　市原三三男
入院隨時

りん病
こしけ　永らく惱む人の福音
天下の名湯別府溫泉で出來た無効返金責任藥
登録商標　別府林藥
全國知名新聞雜誌推奬
こんなヨイクスリを未だ知らない方がありませうか
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし慢性淋病、こしけ、渦渦の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各藥であります。
尙ほ此の藥は責任速効藥で二日內服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢性、惡性の人は七日以上服差して下さい。
美本淋病治療書無代進呈　此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す。代金引換廿三錢手數料金納の事。
藥價　急性用（黑箱）一週分參圓　慢性用（赤箱）一週分五圓
特約一手販賣　平町古鍛冶町一〇　別府林藥
縣社ノ下（電話四四番）